Nauticam

# NA R3

10522

for Canon EOS R3

Fisheye

# 目次

安全にお使いいただくために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・03
事前チェック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・05
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・05
各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・06
【取扱方法】
ハウジングの開閉方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・08
カメラのセッティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・09
カメラ本体の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
リークセンサー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
レンズポートの取り付け方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
ストロボについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
ファインダーの交換 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
浸水テスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
メンテナンス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
保証規定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

＊取扱説明書について

●本書の内容は、予告なく変更することがあります。

●本書の内容について、誤記、記載漏れ、印刷ミス、不明な点などがありましたら、弊社もしくはお近くの販売店までご連絡をお願いいたします。

●本書の一部もしくは全部をいかなる方法でも、個人利用を除いて、無断で複写・複製することはできません。

# 安全にお使いただくために

●この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
●誤った使い方をされますと、カメラ、ハウジングの故障や水没の原因となり、修理不能となるおそれがあります。
●ご使用の際は、必ず事前の点検、テストを実施してください。
●カメラの水没、故障、データの消失による補償や、分解、改造、修理に伴う事故などに関し、弊社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関しての補償はいたしかねます。
●本製品はアルミ削り出し工法により製作されております。そのため、多少の傷、切削目が散見される場合がありますが、動作には支障ありません。このような工法上のクレームはご容赦願います。

## 安全上の注意

以下に表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

| | |
|---|---|
| **危険** | 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。 |
| **警告** | 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。 |
| **注意** | 取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。 |

### 危険

●本製品の改造・分解は絶対におやめください。水没や発熱、発火の原因になります。
●本製品を水中で使用する際は、水深や潜水時間に十分ご注意ください。水中撮影に没頭しすぎると重大な潜水事故につながる危険性があります。

### 警告

●本製品を乳児、幼児、小さなお子様など、本製品の安全上の注意について理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。落下によるケガ、Oリングによる窒息、小さな部品を飲み込むなど、事故の原因となります。
●本製品を長期間使用されない時はカメラ本体を取り出してください。カメラ本体の電池のトラブルなどによる発火のおそれがあります。
●本製品は樹脂製素材を使用しております。強い衝撃や圧迫によって破損した場合、破片や割れた部分によるケガをするおそれがあります。
●本製品付属のOリングやグリスなどは食べられません。

### ⚠ 注意

●本製品は 100m の水深まで耐えられるように設計されています。それ以上深い場所で使用されたり、浅い深度においても衝撃や圧迫を加えると、破損や浸水のおそれがあります。
●浸水や故障などの事故を防ぐために、本製品の使用前後には必ず点検とメンテナンスを実施してください。
●気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、本体の破損や防水機能を損うおそれがあります。
●砂や塵、ほこりなどが多い場所でハウジングを開閉すると、異物が付着することで防水性能が損なわれ、浸水の原因となります。
●飛行機で移動する場合などは、本体の O リングを外しておくことをおすすめします。気圧の変化でハウジングが開かなくなったり、その状態で無理に開こうとすることで本体の破損やケガをするおそれがあります。
●アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、破損や変形の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
●万一、浸水が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。また、浸水している場合、ハウジング内部の圧力が高くなっていることがあります。ハウジングを開ける際、水が噴き出したり、本体が跳ねたりするおそれがありますので、十分にご注意ください。
●本製品は樹脂製素材を使用しています。使用中に岩などにぶつけて強い衝撃を与えると破損するおそれがあります。
●ダイビングのエントリー方法によっては製品に衝撃を与え、浸水や破損の原因となります。とくにボートダイブではエントリー後に船上から手渡してもらうなど、エントリー時の取扱には十分注意してください。
●ハウジングを開閉する際、ほこりやゴミの付着に注意してください。O リングの破損から浸水が発生するおそれがあります。
●ご使用の前には必ず O リングのメンテナンスを実施してください。とくにグリスアップを怠ると、O リングのねじれや劣化につながり、浸水するおそれがあります。
●ハウジングの内部をよく乾燥させた状態でご使用ください。水分が残っていると結露が発生するおそれがあります。使用環境、温度差、湿度により結露が発生する場合は、弊社製品の『FIX シリカシート』または『リークインシュア』のご使用をおすすめします。
●ご使用前に直射日光の当たる場所に放置しないでください。ハウジング内部の温度が高くなった状態で水に浸けると、急激な温度変化により結露が発生するおそれがあります。

## 事前チェック

●この取扱説明書は、お客様がすでにカメラ本体の使用方法を習熟されていることを前提に作成されています。もし、まだカメラ本体の使用に不慣れであれば、本製品の使用前にカメラ本体の説明書を熟読いただきますようお願いします。
●本製品を開梱する前に輸送時のダメージをご確認ください。もし大きなへこみなど梱包に異変があれば、お届けの配送業者あるいはご購入いただいた販売店にご連絡ください。
●本製品は出荷前に耐圧検査を実施していますが、輸送時に何らかのトラブルが発生する場合があります。水中での使用前に、カメラを装填しない状態での浸水テストを強くおすすめいたします。
●ご使用前に付属品がすべてそろっているかご確認ください。

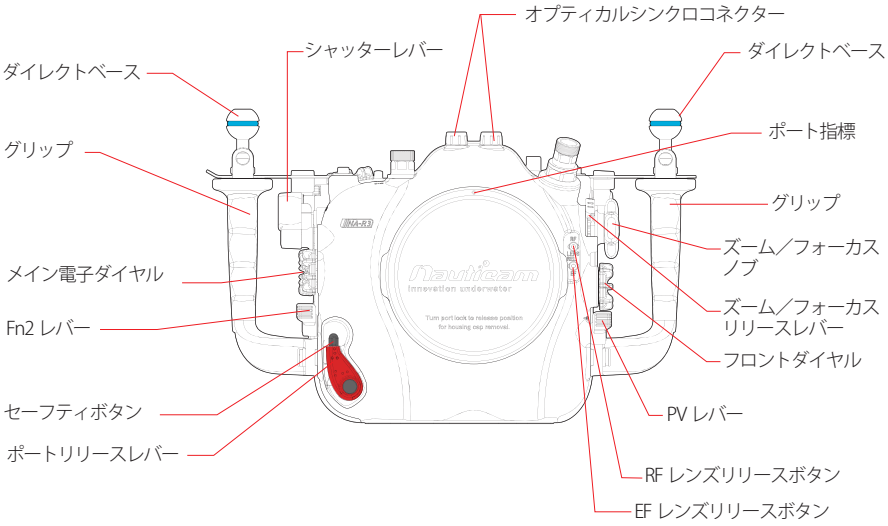
### 仕様

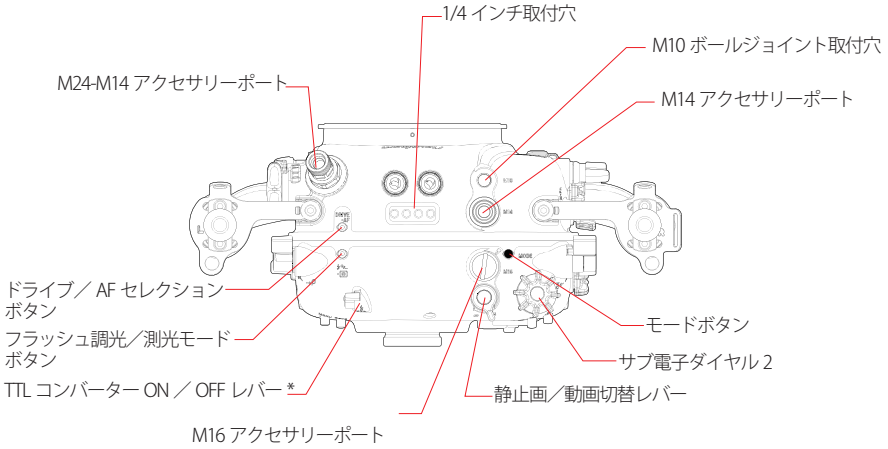
| | |
|---|---|
| 対象カメラ | Canon EOS R3 |
| 耐圧水深 | 100m |
| 材質 | アルミ合金、耐摩擦性ポリカーボネート、ゴム |
| サイズ | W363 × H236 × D161mm |
| 重量 | 3600g |
| ポート径 | N120 |
| 付属品 | ダイレクトベース X2 |

スペア O リング
O リングリムーバー
O リンググリス
CR2450 電池
六角レンチセット
ハウジングボディキャップ
キャリングバッグ
取扱説明書 ( 保証書 )

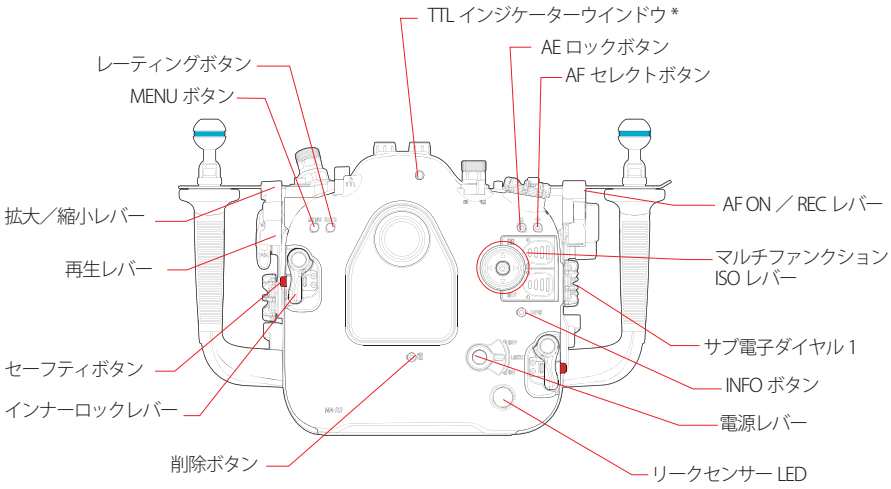
仕様は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

# 各部名称

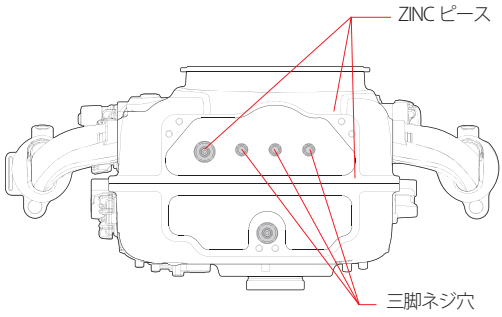



*「NATTL コンバーター IICanonA」では使用しません



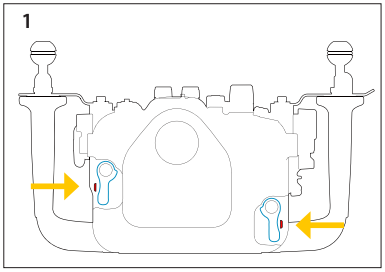

*「NATTL コンバーター IICanonA」では使用しません

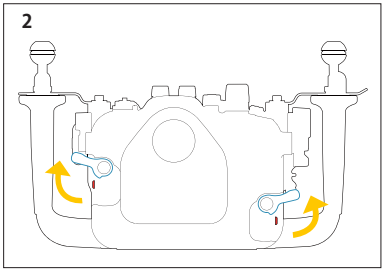


# 取扱方法

## ハウジングの開閉方法

※以下の操作は湿気やほこりの少ない清潔なところで実施してください。



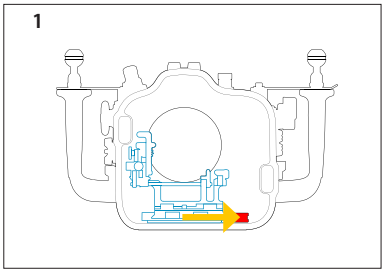




【開け方】
1. フロント側を下にして、平らな面か膝の上に置きます。
2. ハウジングの左右にあるインナーロックレバーのセーフティボタンを押しながら、外側に開き、ロックを外します。（図 1-2）

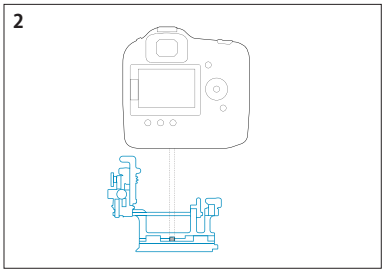
【閉じ方】
1. カメラが正しくセットされているか確認します。
2. O リングと O リングのアタリ面にゴミや髪の毛などの異物がないか確認します。
3. ハウジングの前後を合わせ、左右のインナーロックレバーを同時に内側に倒します。
4. ハウジングがしっかりロックされていることを確認します。

**注意**　ハウジングを閉じた状態で、O リングの挟み込みなどがないか、必ず全周を見わたして確認してください。

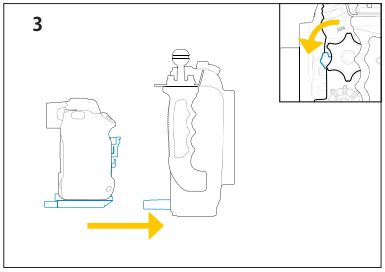
## カメラのセッティング



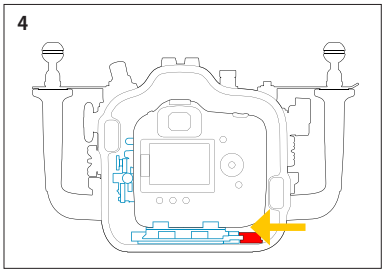

カメラ固定プレートのロックレバーを OPEN の方向に回して、固定プレートをハウジングから取り外します。




「NA Canon ドロップインフィルターマウントアダプターキット」をカメラトレイに取り付けます。

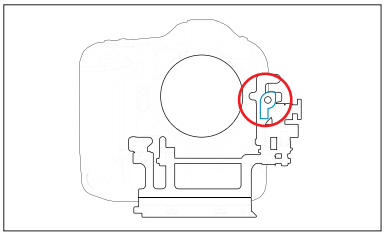



ズーム / フォーカスリリースレバーのリリースを手前に倒し、ハウジングとレンズのギアが干渉しないようにします。固定プレートをレールに沿ってハウジングにスライドさせて戻します。

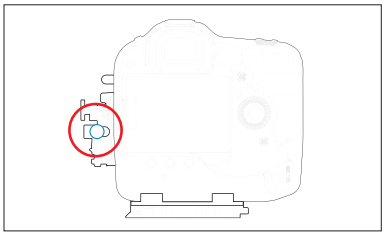



固定プレートのロックレバーを LOCK の位置に戻し、トレイを固定します。
ズーム / フォーカスリリースレバーを元の位置に戻し、ハウジングとレンズのギアがかみ合っていることを確認します。
ハウジングのリアボディを取付け、カメラが正しく作動するか確認してください。

## RF レンズ使用の場合



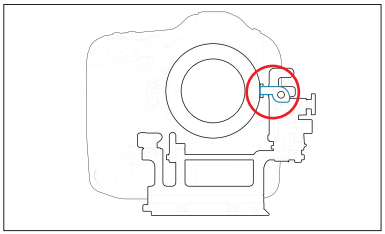
RF マウントレンズを取り付ける前に、固定プレートの EF レンズリリースレバーを垂直方向に倒し RF レンズとの緩衝を避けます。



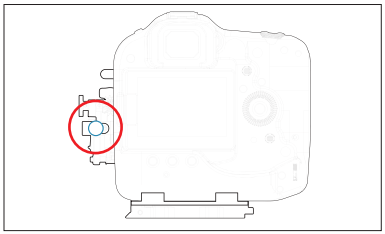
ハウジングトレイの小さな連結ギアが、背面から見て左側にあることを確認してください。レンズの着脱を確認してください。

## EF レンズ使用の場合

### 「コントロールリング マウントアダプター EF-EOS R」付きの場合

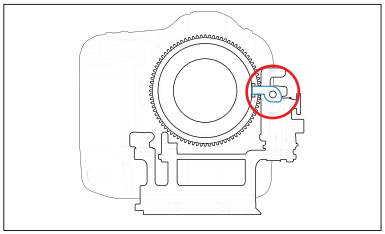


EF マウントレンズを取り付ける前に、固定プレートの EF レンズリリースレバーを水平方向に起こします。

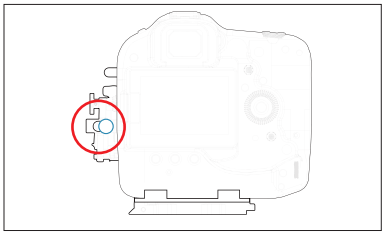


ハウジングトレイの小さな連結ギアが、背面から見て左側にあることを確認してください。レンズの着脱を確認してください。

### 「コントロールリング マウントアダプター EF-EOS R」に「NA EOSR コントロールリングマウントアダプターギア」が付いている場合

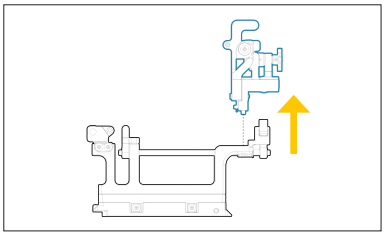


EF マウントレンズを取り付ける前に、固定プレートの EF レンズリリースレバーを水平方向に起こします。

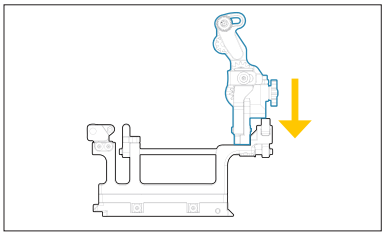


ハウジングトレイの小さな連結ギアが、背面から見て右側にあることを確認してください。レンズの着脱を確認してください。

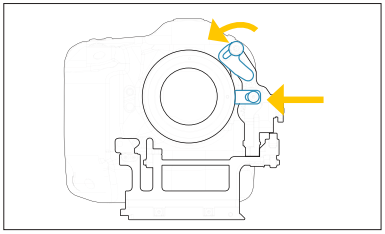
「ドロップインフィルター マウントアダプター EF-EOS R」付きの場合



カメラトレーから、標準装備のコントロールキットを取り外します。



「NA Canon ドロップインフィルターマウントアダプターキット」をカメラトレイに取り付けます。



レバーを倒し、連結ギアを左に押します。トレイに取り付けたマウントアダプターキットとドロップインマウントアダプターのギアが噛み合い作動することを確認します。

## カメラ本体の設定

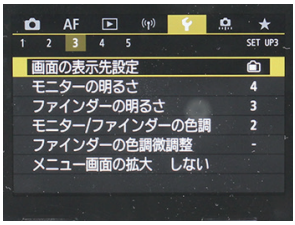
ファインダーとモニターの切替

本機には、手動によりファインダーとモニターの切替機能があります。不用意にレバーに接触し、切り替わってしまわないように、カメラのマルチファンクションボタンに機能を割り当てます。

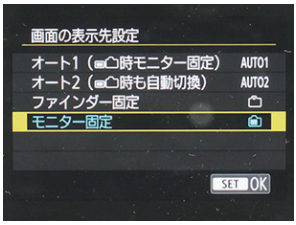
1. アイセンサーにより自動切替を無効にします。

MENU → 機能設定［3］ → 画面表示先設定（図 1） → モニター固定（図 2）

1



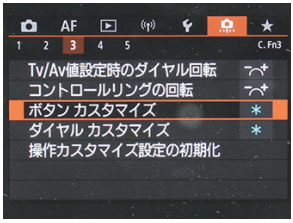

2




2. ファインダーとモニターの切替をマルチファンクションボタンに割り当てます。

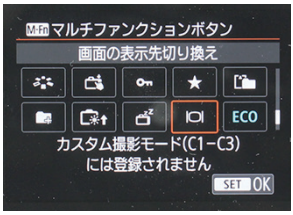
MENU → ボタンカスタマイズ［3］（図 3） → M-fn（図 4） → 画面表示切替（図 5） → MENU（図 6）

3



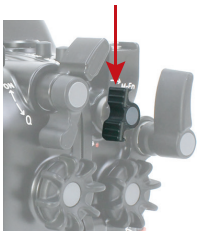

4

5



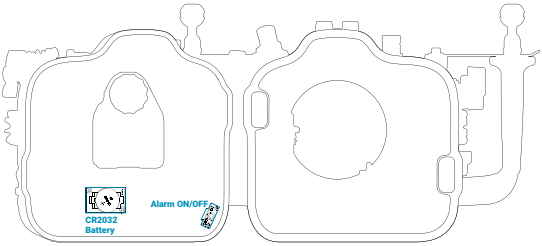

6

マルチファンクション



## リークセンサー

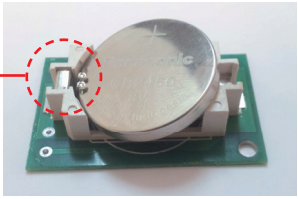
本製品には水感知式の「リークセンサー」が標準装備されています。万一、ハウジング内に浸水が発生した場合、アラーム音と LED の発光で警告します。

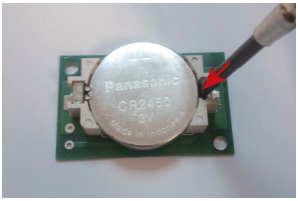



【電池の着脱方法】

1. 電池を取り付ける際は、先に電池を押さえ爪の下に差し込んでから反対側をはめ込みます。
2. 電池を取り外す際は、押さえ爪の反対側の隙間に－ ( マイナス ) の精密ドライバーなどを差し込んで引き起こします。

※はめ込む際、電池押さえ爪を上から押し込まないように注意してください。

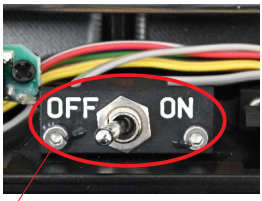




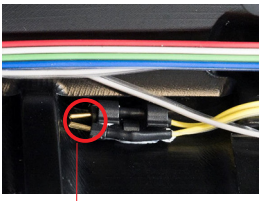

【リークセンサーの作動確認】

ご使用前に以下の手順でセンサーの状態を確認してください。

1. アラームのスイッチを入れます。
2. 電池が正常であれば、LED が青色に点灯し、5 秒後にゆっくりとした点滅を開始します。通常はそのまま青色 LED が点滅した状態で使用します。
3. センサーの 2 本のワイヤーを軽く湿らせた綿棒で触ってください。アラーム音が鳴って LED が赤く点滅すれば異常ありません。その後、乾いた布などでワイヤー表面を軽く拭いてください。アラーム音と LED 点滅は拭き取り後も 5 秒間継続します。
4. 電池が消耗している場合は、LED が青色と赤色の交互に点灯します。また、ただちに電池の交換が必要な場合は、LED が赤色に点灯します。



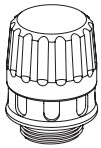

リークセンサースイッチ



リークセンサー端子

## バキュームリークセンサー

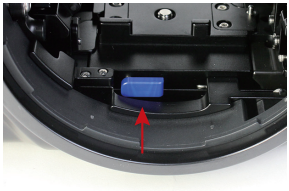
本製品は、オプションの『バキュームバルブ』を追加することで「バキュームリークセンサー」のフルシステムを組むことができます。バキュームリークセンサーの詳細については弊社 WEB サイトをご参照ください。



対応バキュームバルブ
NA バキュームバルブ IIM16（推奨）
NA バキュームバルブ IIM14
※取り付けはハウジングのお預かり作業となります。

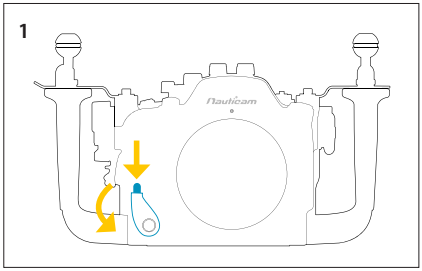
【バキュームリークセンサーのリセット】

1. バキュームリークセンサー使用中はハウジング内部に陰圧がかかっているため、ポートを取り外す際は先にバキュームバルブを開けてエアを開放します。開放中はリークセンサーの LED が黄色の早い点滅となります。
2. LED が赤色の早い点滅に変わったら、ポートを取り外すことができます。
3. カメラ固定プレート前面の青いリセットボタンを押してバキュームリークセンサーをリセットします。正常に作動すれば LED が青色に点灯し、5 秒後にゆっくりとした点滅を開始します。
4. レンズとポートを取り付けます。

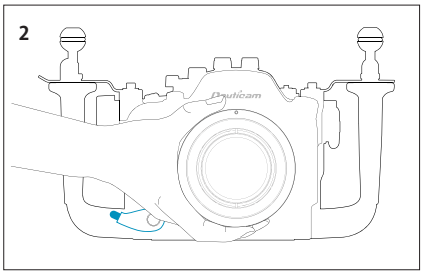


## レンズポートの取り付け方

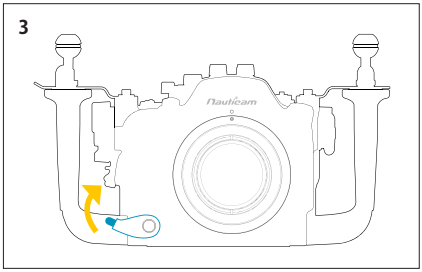
弊社 WEB サイトの「NA システムチャート」にて、対応可能なポートをご確認ください。本製品のポート口径サイズは「N120」です。マウントコンバーターやエクステンションリングが必要となる組み合わせもありますのでご注意ください。




ポートリリースレバーのセーフティボタンを下側に押し、レバーを手前に倒します。付属のボディキャップを外します。




ポートから O リングを取り外し、傷や付着物がないか確認します。付属の O リンググリスを薄く伸ばした後、ポートの溝に収めます。ポートとハウジングの取り付け指標を合わせ、ポートを奥まで押し入れます。




ポートリリースレバーを起こし、ポートをロックします。カチッという音がしてレバーが固定されたことを確認してください。

**注意** 逆光時の撮影の際、ポート内のレンズやギアなどの反射がポートのガラスに写り込む場合があります。その際は、写り込みのない位置で撮影してください。

## ストロボについて

**本製品には、2通りの外部ストロボ接続方法があります。**

**オプティカルシンクロシステム（標準仕様）**
本製品は標準仕様として「オプティカルシンクロシステム」が装備されています。これはストロボ信号に連動したLEDの発光がコマンダーとなり、光ファイバー経由で外部ストロボに同調するシステムです。標準仕様では外部ストロボはTTLオート発光しません、マニュアル発光にてご使用ください。

**NA TTLコンバーターIII Canon**
TTLオート調光に対応したフラッシュトリガーです。対応ストロボは、弊社Webサイトで確認してください。
※本製品と同時購入以外で、TTLコンバーター仕様への変更を希望される場合は、お預かり作業となります。詳しくは、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

**外部ストロボの接続**
ハウジング上部の光ファイバー接続パネルに別売りオプションの「NAユニバーサルオプティカルファイバー」「FIXマルチコアオプティカルケーブル」「SEA&SEA光ファイバーケーブルII」を接続してください。

**注意**　取り外した光ファイバー差し込みキャップを紛失しないようご注意ください。

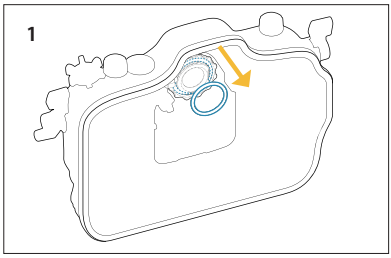
## カメラ本体の設定

【ライブビュー表示の設定】
ライブビュー時の「露出Simulation」は、実際の撮影結果に近い明るさをシミュレートして映像を表示する機能です。しかし、水中撮影においてはたいへん見にくくなる場合があります。初期設定では「する」になっている露出Simulationを「しない」にすることで、露出や外部ストロボの設定を反映させず、標準的な明るさで映像が表示されます。
MENU → [撮影3] → [露出Simulation] → しない
※自然光、ストロボ光の露出結果を反映していないので、撮影後の画像再生で露出結果を確認する必要があります。

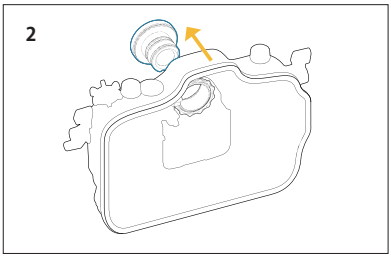
## ファインダーの交換

本製品には取り外し可能なビューファインダーが標準装備されています。下記の手順で簡単に交換が可能です。

**ファインダーの取外し**

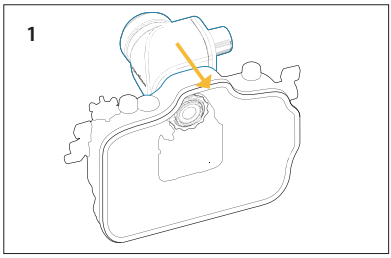



ファインダー下部の切り欠きを利用して保持用Ｏリングを外します。

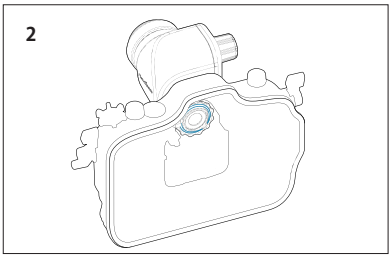



ハウジングの内側からファインダーを軽く押します。

**ファインダーの取付け**




ハウジングの外側からファインダーを押し込み、いっぱいまで挿し込みます。




ハウジングの内側から保持用Ｏリングをはめ込みます。

**注意**

●ファインダーに取り付ける防水用Ｏリングは、事前に必ずグリスアップを実施してください。
●ファインダー保持用Ｏリングは、グリスアップしないでください。
●ファインダー交換の際は、ファインダーに装着されているＯリングやＯリングの溝、Ｏリングのアタリ面にゴミや傷がないか必ず確認してください。
●ファインダーを外した状態のままで使用しないでください。

# 浸水テスト

## ご使用前に

1. カメラを装填する前に、空の状態のハウジングを実際に使用する深度まで沈めて浸水の有無を確認してください。
2. ハウジングの浸水事故は、おもに以下のケアレスミスが原因です。

● O リングの付け忘れ。
● O リングが溝に正しくはまっていない。
● O リングにキズ、ひびがある。または変質、変形している。
● O リングの溝もしくは接触面に、砂やゴミ、髪の毛などが付着している。
● O リング接触面や O リングの溝に傷がある。
●カメラが正しい位置にセットされていない。
●ハウジングを閉じる際にストラップや除湿剤などを挟み込んでしまう。
※ハウジングに水漏れがある場合、上記の原因を取り除き再度テストを行なってください。

**注意** 事前テストは実際に使用する深度での実施が最適です。ただ、その深度を確保するのが難しく、より浅い深度での浸水テストとなっても、必ず実施してください。事前テストを実施したにもかかわらず浸水が確認される場合は、製品の使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサービスまでご相談ください。

## ダイビング前のチェック

ダイビングでご使用になる前に、以下の最終チェックを必ず実施してください。

1. 水を張ったカメラ洗い桶に ( なければ水面にて )、ハウジングを水平の状態でゆっくりと水に沈めます。
2. 最初は 3 秒間水に入れ、ハウジング本体から気泡が上がってこないか確認します。O リングの付け忘れやストラップなどの挟み込みがあれば、わずか 3 秒でも浸水します。
3. 同様に 30 秒 /3 分とチェックを行います。
4. ハウジング本体から継続的に気泡が上がる場合は使用を中止し、再度 O リングのチェックをしてください。

**注意** ハウジングを持ったままボートや高所からエントリーするなど、ハウジングの一方向に強い水圧がかからないよう注意してください。浸水のリスクが高まります。

# メンテナンス

## O リングのメンテナンス

1. 付属の O リングリムーバーを、O リングと本体の溝の間に差し込みます。
2. O リングリムーバーの先端で O リングを引っ掛け、溝から O リングを外します。
3. O リングと O リング溝に付着した砂、塩、古いグリスを除去します。O リング溝は綿棒などを使うときれいに清掃できます。指の感触や目視によってキズやひび割れなどをチェックします。
4. もし、キズやひび割れなどがある場合は、O リングを交換します。
5. 付属のシリコングリスを米粒大ほど指先に取り、3 本の指で挟むように O リング全体に均一に塗ります。その際、力を入れて O リングを引っ張らないようにしてください。グリス自体には防水性はありませんが、グリスの量が少ないと O リングが溝の中で部分的にねじれ、浸水の原因となります。
6. O リングを溝にはめます。その際、O リングがねじれたり、はみ出したりしないように注意してください。
7. ハウジングを閉じる際に、もう一度 O リング面と O リング接触面を目視および指でなぞって、ゴミや髪の毛などの付着がないか確認します。

**注意**

- O リング面に小さな傷やひび割れなどがある場合、その O リングは絶対に使用せず、すぐに新しい O リングと交換してください。
- O リング溝、または O リングが当たる接触面にも砂や小さな ゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。また、傷やひびなどがないかしっかり確認してください。
- O リングや O リング溝、O リング接触面のチェック、グリスアップは、ハウジング開閉時に毎回実施してください。
- 本製品の O リングはシリコンタイプを使用しています。グリスアップは必ず付属の O リンググリスを使用してください。付属のグリス以外を使用すると O リングが膨張し、防水性能を損ないます。

**ZINC ピース**

ハウジング底面の ZINC( 亜鉛 ) ピースは、錆や腐食によるボディの劣化を軽減します。使用を 重ねるうちに徐々に融解していきますので、適宜交換してください。

## 使用後のメンテナンス

海で使用した後は以下の手順で塩分を洗い流してください。

1. 真水を溜めたカメラ専用の洗い桶や洗面器などにハウジングを浸けます。
2. 各レバーやボタンを真水の中で操作し、塩分を洗い流します。
3. できれば、10 ～ 20 分間、洗い桶に浸しておきます。
4. 真水から上げたら、弱い流水で洗ってください。強い水流を一定方向から当てると浸水の原因となりますので、絶対におやめください。
5. 水洗い後は、乾いたやわらかい布等で水気をよくふき取ってください。
6. また、必ずご自宅に戻ってからのお手入れも実施してください。後のトラブルにつながるおそれがありますので、現地での塩抜きのみでメンテナンスを終了させないでください。
7. 長期間使用しない時は、付属のシリコングリスを O リングに薄く塗ってから保管してください。O リングは 1 年毎に交換されることをおすすめします。また、ご使用頻度により 2、3 年に 1 度のオーバーホールをおすすめします。

**注意**

- 洗い桶に浸している時には、絶対にハウジングの開閉はしないでください。
- 海で使用後に放置すると、細かいすき間に残った塩分が結晶となり、水に溶けなくなってしまいます。結晶化した塩分は O リングを押し上げ、浸水の原因となります。
- 使用後はハウジングの接合部などに水滴が残っています。ハウジングを開けた際にカメラ本体に水滴が垂れないようご注意ください。また、髪の毛やウエットスーツからの水滴落下にも気をつけください。
- 炎天下での直射日光による乾燥や、ドライヤーなどによる乾燥は、故障や変形、破損の原因となりますので絶対におやめください。
- ハウジングを直射日光の当たる場所に放置しないでください。また、真夏の車内など高温になる場所への放置、保管はおやめください。内部温度が上昇して防水機能に支障をきたすおそれがあります。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性有機溶剤や化学洗浄剤でハウジングをクリーニングしないでください。

**NOTE**

洗い桶の状況次第では、他の機材からの塩分によって十分な塩抜きができないことがあります。また、僻地や船上など真水の確保が難しい環境もあります。そのような場合は『FIX メンテナンスキット』同梱の『ソルトアウエイ』のご使用をおすすめします。

## 保証規定

当社は、取扱説明書の注意事項に沿った取り扱いにより本製品が万一故障した場合、お買い上げ日から満一年間無料で修理いたします。浸水等によりご使用のデジタルカメラに損害が生じた場合、いかなる理由でも、デジタルカメラ本体に対する補償はいたしません。ご使用になるカメラ本体には保険を掛けていただくなど、ご使用者ご自身での事前の対処をお願いいたします。また、本製品の故障に起因する付随的損害 ( ダイビングや撮影に要した旅費などの諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等 ) についても補償いたしかねます。保証期間の内外によらず修理時の運賃、諸掛かりはお客様においてご負担をお願いいたします。

保証期間内でも以下の場合には有料修理となります。
1. 使用上の誤り ( 取扱説明書の取扱上の注意事項以外の誤操作等 ) により生じた故障。
2. 当社以外で行われた修理、改造、分解等による故障。
3. お買い上げ後の輸送、落下、衝撃等による故障および損傷。
4. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変、公害による故障および損傷。
5. 保管上の不備 ( 高温、多湿の場所、有害薬品のある場所での保管 ) や手入れの不備等による故障。
6. 砂・泥・水かぶり等が原因で発生した故障。
7. 保証書のご提示がない場合、または保証書の記載事項を訂正された場合。
8. 保証書にご購入年月日の記載がない場合。

## Memo

## Memo

# 保証書

お名前

ご住所

TEL

| | |
|---|---|
| 購入日 | 年　　月　　日から 1 年間 |
| 品名 | Canon EOS R3 対応防水ハウジング |
| 製品名 | NA R3 |
| 製造番号 | |
| 販売店名 | |

「販売店名印」「購入日」の記入をご確認ください。
記入無き場合は無効となりますので、直ちにお買い上げ店までお申し出ください。
本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

**株式会社フィッシュアイ**　〒 171-0052 東京都豊島区南長崎 5-29-7 TEL:03-5996-5637 FAX:03-5996-7202

**www.fisheye-jp.com**　**info@fisheye-jp.com**

購入後のメンテナンス・修理等は株式会社フィッシュアイにて承ります

フィッシュアイカスタマーサービス　03-5988-0191　cs@fisheye-jp.com